

## 年少 ねんどっておもしろいね



保育室の遊びの環境で、嬉しそうな表情を浮かべながら粘土を楽しむ子供たちがありました。大きささまざまな形は、丸める伸ばす繋げるなどして、感覚を手や指先に集中させながら子供の手によって形となっていきました。

粘土と向き合いながら、自分のイメージした形に少しでも近づけようとする顔はとても真剣で、思わず言葉をかけるのをやめてしまうほどでした。時々「あれ？」という表情で、粘土がうまく整わないこともありますが、熱心に何度も作り直していました。「ほら～ネックレス～」「(〇〇ができたから) 見て見て～！」出来上がった作品は人に見せたいという思いが溢れていて、とてもかわいかったです。

道具の使い方も少しずつわかってきたこと、形のバリエーションが増えてきたこと、何といても指先が器用になってきたことに成長を感じることができました。